

平成30年1月11日

長井市長 内谷 重治 様
(市議会議長経由)

議員名 蒲生 光男 

文書質問書

長井市議会文書質問に関する規程第3条第1項の規定により、下記のとおり質問いたします。

記

1 質問件名

人口減少下における公共施設整備の在り方について

2 質問内容

- (1) 整備優先順位を再検討すべきではないか
長井病院の精神科入院病床が4月から廃止、タス改修、老福センター等
- (2) 人口規模に見合う公共施設延床面積の考え方
2040年時に2010年比33%の面積削減が必要では、
- (3) 多少使い勝手が悪くても、施設の多機能化・兼用化(複合化)を進めるべき
- (4) 公共複合施設の詳細を示すべき
建設場所、土地取得の概要、面積・価格、付随機能など
- (5) 「(仮称)公共施設の保全・利活用基本指針となる白書」を示すべき

3 回答期限及びその理由

公共施設整備計画の是非を判断したいため、できるだけ早い時期として、1月25日(木)までをお願いいたします。

私は、文書質問に関する規程第3条に基づき質問いたします。

質問内容は、「人口減少下における公共施設整備の在り方について」です。

長井市の人口は、2040年には19,728人まで減少するとの人口動態予測が（社人研など）公表されていますが、2010年比で33.1%9,745人の減との予測です。必ずしもそうなるというものでもないとしても、人口減少がもたらす危機的な状況は多岐にわたると思います。

2016年の全国の年間出生数は97万6,978人と初めて100万人の大台を割りました。戦後の出生数のピークは1949年269万6,638人からおよそ70年で1/3近くまで落ちたこととなります。更に懸念すべきは減少のスピードは止まりそうにないということです。少子高齢化はこれからが本番という事です。出生数の減少は社会に深刻な影響を及ぼすのではないかと、父親と母親から子どもが1人しか生まれないというのは、折り紙を半分に折るのと同じで、紙の面積は半分になり、次の世代もまた1人だとさらに半分になり、面積は1/4になります。最初は広い面積であっても、あっという間に極小の面積になってしまいます。

人口減少は社会の活力を失い、あらゆる分野で人材の確保などが困難になります。既に長い間、未来の母親となる女兒の数が減っているため、出生率が2.0となっても絶対数は増えません。

2017年4月1日時点で秋田県の人口が100万人を割り込みました。2040年まで全国の自治体の半数が将来的な「消滅」の危機にさらされます。民間有識者で作る日本創生会議の人口減少問題検討分科会が、2014年に公表した将来推計の結果に日本中が騒然としたことは記憶に新しいことであります。確実に進む人口減少、しかし、老朽化した公共施設の更新など必要なものは計画的に実施する必要があり、まさに何をどのように選択し優先付けをしていくか必要な時でもあります。

問題は、長井市の人口が2010年の29,473人から2040年に19,728人に減少する中で、同じ施設を持ち続けることは33.1%ものコストが増大することになることであります。現在保有する公共施設等の機能をすべて維持していくためには、多額の費用がかかり、その対応については今から考えておく必要があります。

質問の第一は、「整備優先順位を再検討すべきでは」です。

長井病院の精神科入院病床60床がこの4月から置賜広域病院に統合になります。外来機能は従前のおり残るものの、長井病院の建て替えなど早急に具体的に検討すべきだと思います。長井病院は、昭和3年長井公立病院組合としてスタート、1町5ヶ村の共同伝染病院として設立、昭和4年3月1日長井公立伝染病院が開院しました。ピーク時483床を要した地域医療施設として信頼を担ってきたその役割は極めて大きいものがあったと思います。平成12年山形県も加わり新たな病院として再スタートし、高度医療・救命と初期医療・慢性期に機能を分化した医療体制は理想ですが、病院の老朽化、マンパワー不足、採算性など現実の壁に当たっているのが現状です。何よりも老朽化した建物の更新は喫緊の課題です。

北病棟は6階の内4階のみ使用していますが、もはや一刻の猶予もありません。早急に建て替えを具現化すべきです。南陽病院は21億の更新予算ですが、更に工事費を圧縮すべく検討されているようですが、長井病院の建て替え問題は、市庁舎以上の緊急性があるのではないかと思います。公共施設整備計画の中に具体的に長井病院新築を盛り込むべきです。公共施設整備計画の中でも、見直しを進めると記述していますので早急な対応が必要だと思います。

タスパークホテルの改修について、市は基本的にどのように考えているのか考え方を示していただきたいと思います。タスパークホテルは平成13年5月31日長井市、山形県の要請により長井商工会議所が経営を肩代わりしたいきさつがあります。大規模な改修になるようですが、どのような内容か、費用についても説明願います。当時目黒市長、山形県金森副知事とで交渉、結果、長井市と山形県が各々5,000万円拠出、商工会議所が1億円調達、残り県制度資金特別融資6億円（横澤浩次元会頭保証）合計8億円です。当時の長井市の財政逼迫状況に対し、山形県・会議所が協力してなしたものであります。

更に、老福センターの改修か新築かどのように考えているか説明下さい。老福センターの底地のほとんどが民地になっています。これまでの賃借料も相当多額になっていると思います。総額はいくらになるのか、建て替えの計画等もあるのかも含め説明下さい。

市庁舎建て替えについて、市役所機能が分散していて非効率に加え、本庁舎は耐震補強工事をしたとはいえ不十分な状況です。従って、機会があれば建て替えを検討するのは自然なことですが、今まで申し上げてきた長井病院の建替えは急を要するものだと思いますので、再度優先順位について再検討すべきだと思います。考え方について説明をお願いします。更に、駅前を候補地として議論が進められていますが、この際、人口が減少していく中で公共施設整備の在り方はどうあるべきか、まだまだ突っ込んだ議論が必要だと思いますし、場合によっては住民投票などを用いて市民の声を幅広く聞く機会も必要だと思います。

交付税措置される期限には間に合わないかもしれませんが、将来に禍根を残さないためにも時間をかけてこの際市民のコンセンサスを得るべきではないかと思いますが如何でしょうか。

質問の2点目です。

「人口規模に見合う公共施設延床面積の考え方」について伺います。

長井市が策定した、「長井市公共施設等整備計画」によりますと、平成28年3月末時点で169施設、総延床面積は123,276.25㎡となっています。28年3月時の長井市の人口は27,347人です。市民一人当たり平均4.5㎡となりますが、2040年時の人口予測は19,728人ですから2040年時の公共施設延床面積を89,000㎡まで圧縮しなければ維持管理コストは増大することになります。現在保有施設の72.19%まで約3割近くを何らかの形で削減するなどの方策を考えておくべきです。

このために、サービス・機能の「必要性」、サービス提供方法の「多様性」、次世代にわたる先を見据えた時間軸としての「長期性」など、総合的な視点に基づいての方策が必要ではないかと思えます。

公共施設整備計画の必要性の中で、「・・・インフラ等施設についても、今後40年間で775.2億円（年平均19.4億円）を要する結果となり、直近5年間投資額5.9億円との比較では13.5億円不足することになります。この試算からも分かるように、現在と同様に施設を維持していくことは困難となります。…」と記述されています。人口の減少とともに公共施設の総量規制をしていく必要があるのではないかと思えます。考え方について説明願います。

また、コンポストセンターなどの施設を始め他の施設等についても「予防保全型の対応」により長寿命化を図るとしてはいますが、できるだけ早い機会に計画を示すべきだと思えます。

次に、「多少使い勝手が悪くても施設の多機能化、兼用化を進めるべき」について伺います。総量規制をしていくことは、今までの既成概念を脱却して新たな考え方に立ち位置を変える必要があります。具体的な手法としては、施設の多機能化・兼用化を具体的に展開していかなければならないと思えます。

市が提供するサービス・機能について必要性を見極め、今後のサービスを提供することの妥当性を検討し適正化を図る。提供するサービスごとの施設を保有するのではなく施設の機能面を重視した多機能化・兼用化（複合化）を進めることにより、サービス水準を維持しながら、施設総量の削減を図るとともに、市が保有し続ける必要性・適正化を検討する必要があるのではないのでしょうか。建物を長期にわたり安全で快適な状態に維持し、将来コストの平準化を図るための「予防保全の実施」は、長井市公共施設整備計画の中で指摘されているとおりに思えます。

そのうえで、人口規模に見合った総延床面積の目標値を定める必要があるのではないかと思えます。2010年比2040年人口規模からいけば3割程度の削減目標となるが、何をどのようにして達成するのか、達成するためには、原則的に新規の施設整備投資は行わないなど、厳格な方針が必要ではないかと思えます。

とはいえ、老朽化した施設をそのまま放置はできないわけで、計画的な施設整備が必要になります。市民文化会館の機能をタスパークホテルで担う、学校施設の規模は大きく地域の拠点施設となり得ることから大規模改修や更新時に地域で利用される施設の機能を取り込む、または当該施設を併設して、多機能化や兼用化(複合化)を行うなどが考えられます。

次に質問の第4点目です。

「公共複合施設の詳細を示すべき、建設場所、土地取得の概要、面積・価格、付随機能など」について伺います。

市長は、昨年9月27日の市民検討委員会で、「別途検討中の公共複合施設については、補助率の高い国庫補助を受けやすくするために公共施設や居住誘導区域を定めた

立地適正化計画を策定する必要があります。公共複合施設建設候補地も長井駅周辺で、敷地面積 3~4 ヘクタールを想定し、飲食や遊びといった施設機能を検討中です。庁舎を郊外へ移すと中心市街地活性化基本計画のエリアから外れてしまい、現在進んでいる民間の事業にも水を差すこととなります。また、庁舎と公共複合施設がある程度近隣にないと立地適正化計画の作成も難しくなる。」と発言しています。

立地適正化計画の作成を目指している都市は平成29年7月で357都市、山形県では、山形市、鶴岡市、寒河江市、酒田市、中山町、それに長井市で鶴岡市は策定済みとなっているようです。長井市の計画策定はどのようなスケジュールとしているのか、いつの時点で計画策定されるのか伺います。補助率等お聞きしたいと思います。

国交省では、市町村マスタープランにコンパクトシティを位置づけている都市が増えています。一方で、多くの都市ではコンパクトシティという目標のみが示されるにとどまっているのが一般的で、何をどう取り組むのかという具体的な施策まで作成している都市は少ないのが現状です。

また、コンパクトシティ形成に向けた取組については、都市全体の観点から、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実等に関し、公共施設の再編、国公有財産の最適利用、医療・福祉、中心市街地活性化、空き家対策の推進等のまちづくりに関わる様々な関係施策と連携を図り、それらの関係施策との整合性や相乗効果等を考慮しつつ、総合的に検討することが必要です。

そこで、より具体的な施策を推進するため、平成26年8月に「立地適正化計画」が制度化されました。これは、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進しようとしているものです。

国の制度をうまく使い施設整備をすることに異論はありませんが、この計画自体が私にはいまだ漠として、場所、機能、付随施設、何よりも整備費用が不明のままであることが不安であります。何よりも、庁舎も含めた複合施設が隣接された場合のイメージをどのように描けばよいのか、まずは議会に示されるべきです。検討委員会の議事録を見て知る、あるいは新聞紙上から知る、これでは議会軽視になりかねません。

議会に示されているのは建物の事業費は21億円、但し土地代含まず、ここまでです。まずは議会説明することから始めるべきと思います。

次に質問の第5点目です。「(仮称)公共施設の保全・利活用基本指針となる白書を示すべき」について伺います。

昭和29年11月に長井市が誕生して以来、高度経済成長を背景に急速に経済成長してきました。昭和40年代から50年代、県内一の規模を誇ったマルコン電子をはじめ全国でもまれに見る電子産業集積都市となりました。当時は道路や下水道などの都市基盤の整備とともに、小・中学校の施設整備に追われ、インフラや施設の建設費

予算が大きく占めていました。

その後も行政サービスの広がりとともに、スポーツや文化、生涯学習、産業支援など、その時々ニーズに沿った活動の拠点となる体育館やホール、公民館など多様な施設を整備してきました。

地元産業の活性化とともに、長井市の人口も長い間33,500人を維持してきたものの、人口減少に転じてからは、平成21年1月末には30,008人となり、同年2月時では29,994人となり前月比▲14人について3万人を割り込みました。平成29年11月末では27,049人となり3万人を割ってからの減少のスピードが早いことが何よりも気がかりです。さらに、今後の予測でも2040年、今から22年後には1万9,728人まで減少するということですから危機的状況と言わざるを得ません。

そういう状況下であっても、公共施設は必要であり整備は計画的に進めていかなければなりません。市民の共有財産である公共施設の現状について、配置状況や利用状況、管理運営コストなど様々な視点から分析するとともに、更新・改修の将来コストの試算なども行うことにより、今後の施設配置のあり方や維持改修コストの平準化、有効活用などを定めるいわゆる白書を策定し広く市民に伝える必要があるのではないかと思います。早急に財政計画を含めた公共施設マネジメント白書を作成すべきと思いますがその考えがあるか否か、あるとすればいつ頃を予定しているかについて説明をお願いいたします。

以上、大変お忙しいところと存じますが、回答のほどよろしく申し上げます。